

作物の種類		茶		98(10001)		1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8			9
1	樹姿	区	観察				直立	やや直立	中間	やや開長	開張			定植2～3年生の樹姿（1区：2～3株） 直立：やぶきた,中間：おくみどり、開張：かなやみどり	
2	樹型の大小	区	観察			極小	小	やや小	中	やや大	大	極大		定植後4～5年生の樹型 小：ひめみどり、中：やぶきた,大：はつもみじ	
3	萌芽の早晚性	区	観察			極早	早	やや早	中	やや晩	晩	極晩		萌芽率70%に達した日 早：ゆたかみどり、中：やぶきた,晩：おくみどり	
4	新葉の色（緑）	10枚	観察	白	黄	緑黄	黄緑	淡緑	緑	やや濃緑	濃緑	緑褐	紫	頂芽の上から第3葉の色 （新葉は一番茶摘採時に調査、以下同じ） 黄緑：やえほ、緑：やぶきた、濃緑：さやまみどり	
5	新葉の色（アントシアン）	10枚	観察	無			少	やや少	中	やや多	多		紅	頂芽の上から第3葉のアントシアンの発現程度 少：はつもみじ、中：やぶきた、多：べにほまれ	
6	新葉の毛茸の分布	10枚	観察	無	中肋	中肋付近	葉の1/3		葉の半分		葉の2/3		葉の全面	春芽の新葉で未展開葉の毛茸を観察 無：台湾ヤマチャ1,中肋：金Ay19、中肋付近：金Ay93、葉の半分：Ai1,葉の全面：やぶきた	
7	新葉の毛茸の長さ・密度	10枚	観察	無	無	短低	短中	短高	中低	中中	中高	長低	長中	長高	無・無：台湾ヤマチャ1、短・低：Ak124、短・中：金Cd47、 短・高：Ak1658、中・低：Ai108、中・中：金谷12号、 中・高：おおいわせ、長・低：べにたちわせ、長・中：ゆたかみどり、長・長：やぶきた
8	成葉の長さ	10枚	測定	cm（小数第2位を四捨五入）									春芽の生育を停止した枝の中央部の葉、葉身長を測定 （成葉は摘採しない枝で測定、以下同じ）		
9	成葉の形	10枚	測定	*（小数第3位を四捨五入）									春芽の生育を停止した枝の中央部の葉、葉身長／葉幅（葉形指数）		
10	成葉の先端長	10枚	観察	無			短	やや短	中	やや長	長	極長		春芽の生育を停止した枝の中央部の葉 無：あさつゆ、短：やぶきた、中：はつもみじ、長：Ai2	

作物の種類		茶		98(10001)	1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
11	成葉の色	10枚	観察		黄	緑黄	黄緑	淡緑	緑	やや濃緑	濃緑	緑褐	その他	春芽の生育を停止した枝の中央部の葉 緑黄：はつもみじ，緑：おくみどり，濃緑：かなやみどり，その他：フ入り等

作物の種類		茶		98(10001)		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	成葉の葉幅	10枚	測定	cm (小数第2位を四捨五入)										春芽の生育を停止した枝条の中央部の葉	
2	成葉の光沢	10枚	観察	無			少	やや少	中	やや多	多			春芽の生育を停止した枝条の中央部の葉	
3	新葉の長さ	10枚	測定	cm (小数第2位を四捨五入)										頂芽の上から第3葉	
4	新葉の葉質	10枚	観察				軟	やや軟	中	やや硬	硬			頂芽の上から第3葉, 手ざわりによる 中: やぶきた	
5	新葉の光沢	10枚	観察			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		頂芽の上から第3葉	
6	花径	10花	測定	cm (小数第2位を四捨五入)										盛花時における花の直径	
7	花色	10花	観察	白	乳白	やや淡緑	淡緑	淡黄	黄	うす桃	桃	紅	その他	盛花時の花色	
8	枝条分枝数	区	観察・測定			極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		定植2~3年の幼木の秋季生育停止時の分枝数 中: やぶきた	
9	枝条節間長	10本	観察・測定			極短	短	やや短	中	やや長	長	極長		春芽の生育を停止した枝条の中央部の節間長 中: やぶきた	
10	枝条の太さ	10本	観察・測定			極細	細	やや細	中	やや太	太	極太		春芽の生育を停止した枝条の中央部の太さ 中: やぶきた	
11	雌ずいの抽出度	10花	観察				S		M		L			雌ずいと雄ずいの長さの比較 S: 雌ずい<雄ずい, M: 雌ずい=雄ずい, L: 雌ずい>雄ずい S: やぶきた, M: さやまかおり, L: おくみどり	
12	雌ずいの分岐数	10花	測定	本 (小数第2位を四捨五入)										雌ずいの先端部の分岐数	
13	雌ずいの分岐点の深さ	10花	観察・測定				深		中		浅			雌ずいの分岐点の位置 深: やぶきた, 中: さやまみどり, 浅: するがわせ	

作物の種類		茶		98(10001)	1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
14	雌ずいのくびれの有無	10花	観察	無					(有)				有	花柱が角度を持って屈曲しているもの 無：やぶきた, (有)：おくむさし, 有：おくみどり
15	子房の毛の多少	10花	観察	無		極少	少	やや少	中	やや多	多	極多		子房部に付いている毛の数 多：やぶきた
16	成葉の厚さ	10枚	測定	μ (小数第1位を四捨五入)										春芽の生育を停止した枝条の中央部の葉、中央部側脈間の葉肉の厚さ

作物の種類		茶		98(10001)	2次必須項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	摘採期の早晩	区	観察			極早	早	やや早	中	やや晩	晩	極晩	出開度70%あるいは春芽の開葉数が平均3枚以上に達した日を目安とする 早：ゆたかみどり，中：やぶきた，晩：おくみどり
2	秋芽の停止期	区	観察			極早	早	やや早	中	やや晩	晩	極晩	秋季に枝条が生長を停止する時期 早：さやまかおり，中：やぶきた，晩：おくみどり
3	挿木の活着率	100本 2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									挿木当年の生育停止期に調査
4	成木の株張り	区	測定	cm (小数第1位を四捨五入)									畦仕立園，秋季生育停止期にうねと直角で最も広い部分 (定植後6年目に調査)
5	赤枯抵抗性	10本 2反復	観察			極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強	厳寒期の成葉の耐凍性。10～15cmの枝条を-9～-15℃で2時間処理し，乾燥をさけ，10℃程度の室温に1～2日置く。葉あるいは茎の形成層の褐変程度で判定。 やや弱：はつもみじ，やや強：あさつゆ，強：やぶきた
6	裂傷型凍害抵抗性	10本 2反復	観察			極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強	幹及び枝の耐凍性。葉を除いた枝(10～20cm)を十分水を含ませた土に挿し，徐々に-3～-5℃まで冷却し所定の温度に置く。裂傷の発生率又は形成層の褐変程度で判定 弱：おくむさし，やや強：やぶきた，強：かなやみどり
7	炭そ病抵抗性	10本 2反復	観察			極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強	人工接種又は自然発病による。分生胞子を噴霧接種(湿度100%で2日間)し3～4週間後に調査 弱：やぶきた，中：かなやみどり，強：やまとみどり
8	輪斑病抵抗性	10本 2反復	観察			極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強	人工接種又は自然発病による。エイジをそろえた葉に分生胞子を付傷接種後15日頃に調査 弱：やぶきた，中：やまかい，強：やまとみどり

作物の種類		茶		98(10001)		2次選択項目									
項目 番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	青枯抵抗性	区	観察			極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強		低温下の寒風害による被害程度で判定 弱：あさつゆ，中：やぶきた，強：おくむさし	
2	網もち病抵抗性	区	観察			極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強		ほ場での発病程度で判定	
3	もち病抵抗性	区	観察			極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強		ほ場での発病程度で判定	
4	赤焼病抵抗性	区	観察			極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強		ほ場での発病程度で判定	
5	カンザワハダニ抵抗性	区	観察			極弱	弱	やや弱	中	やや強	強	極強		株当たりの発生状況で判定	

作物の種類		茶		98(10001)	3次必須項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	摘採芽の芽長	20本 2反復	測定	cm (小数第2位を四捨五入)									摘採芽の基部から心の基部までの長さ (一番茶期)
2	摘採芽の葉数	20本 2反復	測定	枚 (小数第2位を四捨五入)									摘採芽の開葉数 (一番茶期)
3	摘採芽の茎の太さ	20本 2反復	測定	mm (小数第1位を四捨五入)									摘採芽の中央部の茎の径 (一番茶期)
4	摘採芽の芽数	枠 2反復	測定	本 (小数第2位を四捨五入)									摘採時に枠を置いて測定。摘採面より上で2葉以上ついた新芽の数 枠摘み(30×30cm)
5	摘採芽の100芽重	2反復	測定	g (小数第2位を四捨五入)									100芽重又は摘採芽30gを取り、その中の芽を数え100芽に換算 (30g/摘採芽数)×100、ただし切れ葉を除く
6	摘採芽の出開度	2反復	測定	% (小数第2位を四捨五入)									摘採芽中に出開芽の割合、芽数調査と同時に測定
7	芽揃い	区	観察				不良	やや不良	中	やや良	良		春芽の揃いの程度 (一番茶摘採時)
8	全窒素	2反復	測定	% (小数第3位を四捨五入)									摘採芽について行う 茶の分析法による (池谷ら：茶研報71号, 1990)
9	アミノ酸	2反復	測定	% (小数第3位を四捨五入)									摘採芽について行う 茶の分析法による (池谷ら：茶研報71号, 1990)
10	カフェイン	2反復	測定	% (小数第3位を四捨五入)									摘採芽について行う 茶の分析法による (池谷ら：茶研報71号, 1990)
11	タンニン	2反復	測定	% (小数第3位を四捨五入)									摘採芽について行う 茶の分析法による (池谷ら：茶研報71号, 1990)

作物の種類		茶	98(10001)	3次選択項目										
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位										調 査 方 法 等
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
1	収量（一番茶）	区	測定	kg/a（小数第2位を四捨五入）										定植後6年目
2	香気	2反復	官能検査				不良	やや不良	中	やや良	良			そう快性，新鮮，みる芽香のあるものは上の品質（緑茶）
3	水色	2反復	官能検査				不良	やや不良	中	やや良	良			うすし，赤み，黒み，にごり，沈き多しのないものは上の品質（緑茶）
4	滋味	2反復	官能検査				不良	やや不良	中	やや良	良			うま味，こく，そう快味のあるものは上の品質（緑茶）
5	発酵性	2反復	観察	不発酵		極不良	不良	やや不良	中	やや良	良	極良		クロロホルムテストによる 不良：はつもみじ，中：べにたちわせ，良：べにほまれ
6	製茶適性	区	その他		展茶	玉露		煎茶	釜炒茶	玉緑茶	半発酵茶	紅茶	その他	
7	香気成分GL比	2反復	測定	*（小数第2位を四捨五入）										G（ゲラニオール）とL（リナロール）の成分比 L / (G + L) で計算（ガスクロマトグラフィーで測定）